

# 共同研究会

中国は現在、『一帯一路』をスローガンにアジアからヨーロッパまでを経済的に結び付ける政策を主導している。そして、この構想を資金的にサポートする機関がアジアインフラ投資銀行であり、通称『AIIB』と呼ばれる国際的な金融機関である。この一帯一路構想と AIIB について日本では賛否両論含めて様々な意見があるが、その実態については十分な情報が集まっているとは言い難い。

このようななか、現在の和歌山大学経済学部には、河南科技大学経済学院（中国河南省洛陽市）の高延軍准教授が研究滞在しており、日中の政府系金融機関（農業金融）、経済政策、国土開発などの面で本学教員（金澤孝彰・築田優）と共同研究を行っている。高准教授の研究領域は国際経済や国際貿易であり、一帯一路構想や AIIB などについての多くの見識を有している。そこで、高氏と金澤による研究報告を中心とした共同研究会を行い、一帯一路構想や AIIB、そして近年の中国の産業構造の変化について議論したい。

報告者：

金澤孝彰（和歌山大学経済学部 教授）

仮題 「中国における地域産業構造をめぐる一考察」

高延軍氏（和歌山大学経済学部 海外客員研究員・河南科技大学経済学院 准教授）

仮題 「中国内陸部経済開発と『一帯一路』・『AIIB』」



高 延軍 氏（1977 年生まれ）

河南科技大学経済学院准教授。同学院国際経済・貿易系主任を務めるかたわら同大学院修士課程に在籍する学生の研究指導を担当している。分析・解析評価方法に関する専門的知識を有しており、河南省認定シニアコンサルタントとしても活躍中。2007年に中国科学院成都山地災害・環境研究所自然地理学専攻を修了し、博士号（Ph.D）を取得。現在は地域経済を主な研究テーマとしている。

討論者： 築田優（和歌山大学経済学部 准教授） 他 1 名

使用言語： 英語（※通訳も必要に応じて行う。）

主催： 和歌山大学経済学部地域・国際連携オフィス

【日時】 2017 年 8 月 10 日 木

11 時 00 分～12 時 30 分（予定）

【会場】 経済学部本館棟 5 階第一会議室